

第165回 記録管理学会例会のご案内

関西担当理事 石井 幸雄

第165回例会を開始いたします。今回は、山西芳幸氏（会員）にご発表をお願いしました。中小企業の文書・記録管理の現状や改善タスク、勉強会等を通して得た事例をお話しいただきます。その後は、図書館司書、文書館職員、文書・記録管理実務者、アーキビスト等情報専門家の皆様とのディスカッションを通し、実現可能性の高い施策を検討しようと思います。

《発表概要》

働き方改革が声高に叫ばれるようになってから、あらためてペーパーレス化やオフィス内の文書削減、或いは情報の共有化等に頭を抱える中小企業が増えている。具体的な業務のシステム化や文書管理の改善策が実行されていればこのような問題は顕在化しないであろう。

これまでも各方面から文書・記録管理の重要性は訴え続けられているが、中小企業、特に小規模事業者においては具体的な取組みがみられず状況は変わっていないようである。そのような企業の経営者は文書・記録管理の有効性に気付いていないため、本来業務としての意識が薄いことが多く、企業内の自助努力だけでは改善は難しいと思われる。

そこで外部の専門家、特に図書館司書が保有する情報リテラシー（多様な資料の収集、評価・分析、メタデータの設計・分類、整理・保存などを通してレファレンスを行う知識やノウハウ）を活かして、能動的な働きかけ（支援）ができないかを検討したい。また、地域としての記録管理・アーカイブスが小規模事業者のビジネスそのものに役立つと同時に地域の発展にも役立つ仕組みを作れないかという点で、活発な意見交換の場になることを期待している。

会員の皆様はもとより、本テーマにご関心がある方は奮ってご参加下さい。なお、今回は、議論を深めるため少人数で実施しますので、お申込みの先着10名様とさせていただきますのでご了承ください。

記

- テ ー マ 中小企業の文書・記録管理の現状と図書館司書等情報専門家に期待すること
報 告 書 山西芳幸氏(会員)
開 催 日 時 2020年3月28日(土)15:00～17:00
受 付 開 始 14:30～
会 場 大阪大学中之島センター5F 多目的室501
ア ク セ ス <https://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/>
主 催 記録管理学会：<http://www.rmsj.jp/>
後 援 ARMA 東京支部：<http://www.arma-tokyo.org/>
日本図書館研究会 情報組織化研究グループ
<http://josoken.digick.jp/profile/index.html>
参 加 費 500円(資料代)/人
要 申 込 e-mail：office_ishii/atmarak/maia.eonet.ne.jp
問 合 せ 先 お申し込み時に、ご芳名、ご所属をご記入ください。
※メールの際は、/atmarak/を@に変更して送信をお願いします。
申 込 締 切 2020年3月21日(土)、ただし先着10名様とさせていただきます。

以上